

The mid-term report of the 24th Business Year

第24期中間事業報告書

2004年1月1日～2004年6月30日



人が未来—Next Technology Frontier

 **Alps** 株式会社 アルプス技研

銘柄コード4641

ごあいさつ



代表取締役社長
池松邦彦

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第24期の中間事業報告書をお届けするにあたり、平素のご支援に対し厚く御礼申し上げます。

当中間期の経営環境は、昨年後半以降企業の設備投資や輸出の増加に支えられ、景気回復への歩みが確実になっております。

このような環境下において当社グループは、主要顧客である製造業のうち景況改善が著しい業界へ積極的な営業展開を図り、製品開発設計業務を中心に製品の品質向上、開発期間の短縮、開発費用削減に直結する高付加価値な技術サービスを提供するほか、モノづくり

部門では「プロジェクト受注」を積極的に展開した結果、当中間期における連結業績は、売上高95億6百万円（前年同期比19.2%増）、経常利益7億34百万円（同132.8%増）、中間純利益3億75百万円（同511.9%増）となりました。

当社では現在、昨年7月よりスタートした第8次5ヵ年計画「新たな事業価値を創造する」を達成する為にさまざまな取り組みを実践しております。特に本年度は「顧客価値の向上に貢献する高い技術力と信頼の構築」を事業方針とし、技術者を取り巻く環境の最適化と資質向上に力点を置いております。具体的には、経営理念である「Heart to Heart」の概念の浸透、CSR（企業の社会的責任）の取り組



取締役会長
松井利夫

み、コンプライアンス体制の確立、全国の技術者のモチベーションアップと技術レベルの向上を図るため、技術者の代表が一堂に会する会議の実施、また、技術者があるべき姿を確認しキャリアアップへの意欲と方策を主体的に会得できる支援システムの構築により、チームワークに必要なコミュニケーション能力やリーダーシップの醸成に注力してまいります。さらには、社員が個人的または仕事に関わる問題の発見および解決をサポートし企業全体の生産性の向上を支援するEAP (Employee Assistance Program/従業員支援プログラム) の導入をいたしました。

また、グループ戦略につきましては、シナジー効果をより発揮しやすい人材ビジネスを

中心に展開を図っていくとともに、既存グループ会社の経営基盤の強化に継続的に取り組んでまいります。さらに国際戦略におきましては、「アジアにおける日系企業への人材支援や技術支援」という側面と「国際間の人材交流によるシナジーを発揮できる組織体制の構築」という側面の両面から取り組み強化を行い、併せて少子高齢化社会を見据えた新分野産業への開拓も積極的に進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2004年9月

当中間期の営業概況

連結

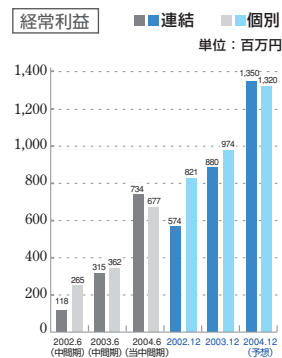
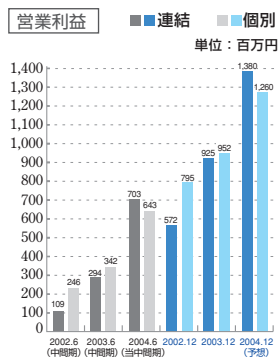
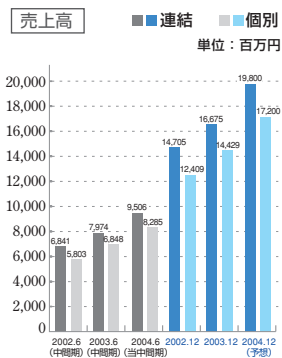
売上高	9,506 百万円	前年同期比	+1,532 百万円	+19.2 %
営業利益	703 百万円	前年同期比	+409 百万円	+139.2 %
経常利益	734 百万円	前年同期比	+419 百万円	+132.8 %
中間純利益	375 百万円	前年同期比	+313 百万円	+511.9 %

セグメント別売上高

派遣事業	5,483 百万円	前年同期比	+1,098 百万円	+25.0 %
請負事業	3,990 百万円	前年同期比	+637 百万円	+19.0 %
製・商品販売事業	26 百万円	前年同期比	△201 百万円	△88.2 %
教育事業	5 百万円	前年同期比	△1 百万円	△24.3 %

TOPICS

1. 連単倍率 1.34（中間（当期）純利益比）
2. 売上高19.2%増、経常利益約2.3倍、中間（当期）純利益約6倍（前年同期比）
3. 売上高、営業利益、経常利益、中間純利益ともに連結中間決算開始（2001年12月期）以来最高額を計上
4. 派遣事業売上高25.0%増、請負事業売上高19.0%増（前年同期比）



個別

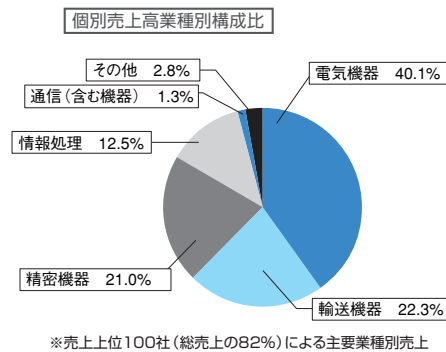
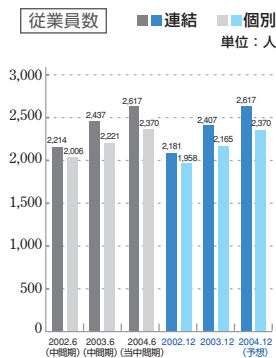
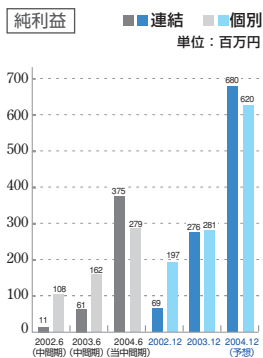
売上高	8,285 百万円	前年同期比	+1,437 百万円	+21.0 %
営業利益	643 百万円	前年同期比	+301 百万円	+88.1 %
経常利益	677 百万円	前年同期比	+315 百万円	+87.2 %
中間純利益	279 百万円	前年同期比	+117 百万円	+72.0 %

セグメント別売上高

派遣事業	5,116 百万円	前年同期比	+1,010 百万円	+24.6 %
請負事業	3,165 百万円	前年同期比	+426 百万円	+15.5 %

TOPICS

1. 売上高21.0%増、営業利益は88.1%増、経常利益は87.2%増（前年同期比）
2. 「モノづくり部門」売上約3.5倍（前年同期比）
3. 派遣事業売上高24.6%増、請負事業売上高15.5%増（前年同期比）



通期の見通し（2004年12月期業績予想）

連 結

	2004年12月期業績予想	前期（2003年12月期）実績
売 上 高	19,800 百万円	16,675 百万円
営 業 利 益	1,380 百万円	925 百万円
経 常 利 益	1,350 百万円	880 百万円
当 期 純 利 益	680 百万円	276 百万円

製造業における新製品開発が活発で、当社グループに対する技術者要請は相変わらず堅調であり、またアウトソーシングの必要性の高まりからくる請負の受注も旺盛で、通期は子会社各社とも増収を見込んでおります。

個 別

	2004年12月期業績予想	前期（2003年12月期）実績
売 上 高	17,200 百万円	14,429 百万円
営 業 利 益	1,260 百万円	952 百万円
経 常 利 益	1,320 百万円	974 百万円
当 期 純 利 益	620 百万円	281 百万円

当社の設計技術者に対する派遣要請は高まっており、派遣稼働率、工数、単価ともに当初予想を上回っております。また「モノづくり部門」での受注も回復傾向にあります。今期下期は、来期業績につながる新卒を中心とした採用活動を全国的、全社的に積極展開を図るため、販売管理費の増加を予定しておりますが、それを含めても増益を見込んでおります。

経営方針

経営理念 Heart to Heart

社会や企業の発展も、個人の成長も技術開発も
全て人間関係が基本であることを認識し、
人と人との心のつながりを大切にしよう、という意味を表しています。

経営計画

■長期事業基本計画

1. 高度技術集団化
知価の時代に対応可能な企業へ
2. 研究開発・知的サービス型新規事業の展開
精神欲充足の時代に対応可能な新分野への
進出
3. 事業拠点の分散化
地方の時代・情報化社会・国際化社会への
対応

■2004年度事業方針

「顧客価値の向上に貢献する高い技術力と信頼
の構築」

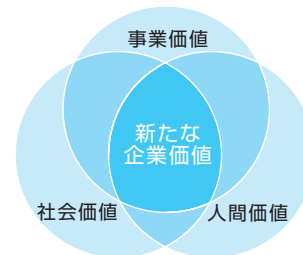
組織マネジメントの改善、ソフト事業の再構
築および技術者育成支援システムの構築により、
新しい企業価値を創り上げていきます。

また本年度はCSR（企業の社会的責任）の認
識およびコンプライアンス体制の強化、従業
員に対するメンタルケアの充実を図ります。

■第8次5ヵ年計画

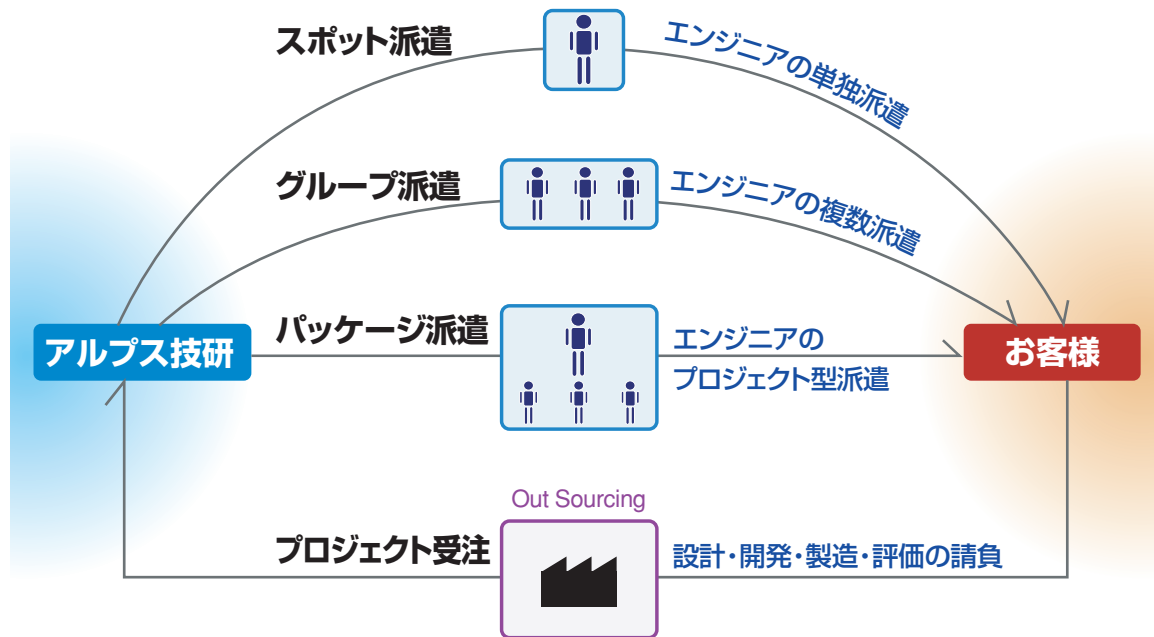
「新たな企業価値を創造する」

1. 事業価値の向上
顧客との「WIN-WINの関係」構築による収
益力の向上
2. 人間価値の向上
自律、自立型社員への成長
3. 社会価値の向上
コーポレートガバナンス・コンプライアンスへの
取り組み強化



上の図は3つの価値が向上し、重なり合う部分が拡大していくことにより、新たな企業価値を創出することをイメージしています。

営業内容



1. エンジニアリング提供の4つのスタイル。

経営のスピード化、効率化は、コア事業への回帰と同時に周辺事業のアウトソーシング化を一段と加速させています。事業フィールドの裾野がバーチャル化すればするほど、テンポラリーな労働需要が高まってきます。エンジニアの派遣は、こうした事情を抱えた製造業各社にとってますます利用価値のあるサ

ービスとなることでしょう。

当社では最もポピュラーなエンジニアの〔スポット派遣〕をはじめ、〔グループ派遣（同一企業の異部門への複数派遣）〕、〔パッケージ派遣（同一企業の単一部門への複数派遣）〕、設計・開発・製造・評価を単独もしくは一括で請負う〔プロジェクト受注〕など様々なスタイルで、多種多様なお客様のニーズに対応しております。

2. より高い付加価値を提供する エンジニアリング・ソリューション・ベンダー を目指して。

エンジニアのエンジニアたる所以は、好奇心と創造力に満ち溢れているところ、あるいは感性、技能、論理力、知識を結集して自然界や社会の難題をクリアしていこうとすることであります。当社のエンジニアは、お客様からの指示された業務内容を迅速に的確に処理していくことはもとより、業務の中で気づいたことや改善ポイントを報告したり、次なるステップへの展望を添えたりするなど発見と提案を大切にしています。当社では、こうしたエンジニア像を一つの山を克服したら更なる高みに挑むクライマーになぞらえ『アルプスエンジニア』と総称、オン・オフの両面からさまざまな啓発活動を行っております。

21世紀は地球的規模の環境問題やエネルギー問題も顕在化してまいります。深い痛みを乗り越え宇宙開発も進むことでしょう。立ち上がるハードルが高ければ高いほどイノベーションへの期待も膨らみます。当社はエンジニアと営業が一体となって、お客様とその先にある未来社会に貢献できるよう、日々技術の研鑽と練磨に取り組んでいます。

3. グループの事業内容

当社内外の専門家集団との間で、戦略的な分業化業務提携、M&Aを行い、現在は国内6社、海外3社との間で戦略的なグループセクター「クモの巣型ネットワーク」を形成、人材・組織最適化から業務ソリューションに亘る多種多様な課題に対応してまいります。さらに、アルプス技研本体が有するモノづくり拠点とそれらのセクター間で互いに有機的な相互補完体制を敷くことで、ますます先鋭化する技術ニーズにお応えしてまいります。

アルプス技研グループ会社	
(株) アルプスビジネスサービス	<ul style="list-style-type: none"> ●人材派遣(事務系・生産技術サポート) ●人材紹介 ●社員教育 ●損害保険代理店業
(株) アルネス情報システムズ	<ul style="list-style-type: none"> ●ERP(業務系パッケージ)導入支援等システムコンサルティング ●アプリケーションソフトの開発
(株) サイエンスシステム	<ul style="list-style-type: none"> ●電気計測器・度量衡の校正 ●自動省力化機器等開発・設計 ●検査測定装置等開発・設計 ●理化学試験機の販売 ●電気精密機器の販売
(株) エムテシー	<ul style="list-style-type: none"> ●フォトマスク・ウエハ関連の半導体関連装置の開発製造
ディスクウェア(株)	<ul style="list-style-type: none"> ●装置機器設計開発・製造及び販売 ●光ピックアップ検査装置設計・開発
(株) ホットスプリング	<ul style="list-style-type: none"> ●濃縮温泉水の製造・販売
愛達翔研(股)有限公司(台湾)	<ul style="list-style-type: none"> ●技術者派遣 ●設計・試作・開発・製造の請負
ALTECH LANKA (PVT) LTD.(スリランカ)	<ul style="list-style-type: none"> ●IT関連教育 ●ソフト開発の請負
阿爾卑斯科技(北京)有限公司	<ul style="list-style-type: none"> ●ソフト開発請負 ●設計・開発業務請負等の受託

決算概要

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前中間期 (2003年6月30日現在)	当中間期 (2004年6月30日現在)	前期 (2003年12月31日現在)
資産の部			
流動資産	3,921	4,609	4,269
現金及び預金	688	692	784
受取手形及び売掛金	2,507	3,050	2,769
有価証券	5	5	5
たな卸資産	258	354	283
繰延税金資産	206	317	247
その他	259	203	187
貸倒引当金	△ 3	△ 14	△ 8
固定資産	5,435	5,594	5,563
有形固定資産	3,708	3,655	3,698
建物及び構築物	1,892	1,835	1,874
土地	1,666	1,684	1,683
その他	150	135	140
無形固定資産	173	128	148
連結調整勘定	19	6	13
その他	154	122	135
投資その他の資産	1,553	1,810	1,715
投資有価証券	732	869	739
繰延税金資産	201	184	204
賃貸固定資産	348	495	489
その他	353	336	357
貸倒引当金	△ 84	△ 76	△ 76
繰延資産	—	0	0
資産合計	9,357	10,203	9,832

科目	前中間期 (2003年 6 月30日現在)	当中間期 (2004年 6 月30日現在)	前期 (2003年12月31日現在)
負債の部			
流動負債	4,002	4,557	4,271
支払手形及び買掛金	115	236	188
短期借入金	1,623	1,406	1,988
未払法人税等	294	431	404
未払金	1,015	1,299	522
賞与引当金	382	541	403
その他	570	642	764
固定負債	787	645	753
長期借入金	250	45	145
退職給付引当金	415	389	407
役員退任慰労引当金	115	196	189
その他	6	15	11
負債合計	4,789	5,203	5,024
少数株主持分			
少数株主持分	0	4	11
資本の部			
資本金	1,525	1,530	1,526
資本剰余金	1,963	1,968	1,963
利益剰余金	1,126	1,492	1,340
その他有価証券評価差額金	△ 19	69	21
為替換算調整勘定	△ 4	△ 11	△ 5
自己株式	△ 23	△ 54	△ 50
資本合計	4,567	4,996	4,796
負債、少数株主持分及び資本合計	9,357	10,203	9,832

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前中間期	当中間期	前期
	2003年1月1日から 2003年6月30日まで	2004年1月1日から 2004年6月30日まで	2003年1月1日から 2003年12月31日まで
売上高	7,974	9,506	16,675
売上原価	6,430	7,390	13,216
売上総利益	1,543	2,115	3,459
販売費及び一般管理費	1,249	1,412	2,533
営業利益	294	703	925
営業外収益	45	53	52
営業外費用	23	21	97
経常利益	315	734	880
特別利益	25	—	24
特別損失	105	8	223
税金等調整前中間(当期)純利益	235	725	681
法人税、住民税及び事業税	292	438	595
法人税等調整額	△ 102	△ 83	△ 173
少数株主損失	15	4	16
中間(当期)純利益	61	375	276

中間連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	前中間期	当中間期	前期
	2003年1月1日から 2003年6月30日まで	2004年1月1日から 2004年6月30日まで	2003年1月1日から 2003年12月31日まで
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高	1,962	1,963	1,962
資本剰余金増加高	0	4	0
増資による新株発行	—	4	0
自己株式処分差益	0	0	0
資本剰余金中間期末(期末)残高	1,963	1,968	1,963
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高	1,218	1,340	1,218
利益剰余金増加高	61	375	276
中間(当期)純利益	61	375	276
利益剰余金減少高	153	223	153
配当金	118	177	118
役員賞与	35	42	35
持分法適用会社の減少に伴う剰余金減少額	—	3	—
利益剰余金中間期末(期末)残高	1,126	1,492	1,340

決算概要

中間個別貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前中間期 (2003年6月30日現在)	当中間期 (2004年6月30日現在)	前期 (2003年12月31日現在)
資産の部			
流動資産	3,454	4,070	3,637
現金及び預金	473	441	452
受取手形	194	187	266
売掛金	2,084	2,545	2,243
たな卸資産	182	300	205
繰延税金資産	182	274	194
短期貸付金	218	199	159
その他	129	133	127
貸倒引当金	△ 10	△ 12	△ 13
固定資産	6,094	6,130	6,147
有形固定資産	3,567	3,523	3,555
建物	1,787	1,743	1,774
土地	1,589	1,607	1,606
その他	191	172	174
無形固定資産	138	110	121
投資その他の資産	2,388	2,496	2,470
投資有価証券	1,432	1,292	1,290
繰延税金資産	319	457	431
賃貸固定資産	348	495	489
その他	295	251	260
貸倒引当金	△ 6	△ 1	△ 1
資産合計	9,548	10,200	9,784

科目	前中間期 (2003年6月30日現在)	当中間期 (2004年6月30日現在)	前期 (2003年12月31日現在)
負債の部			
流動負債	3,457	4,013	3,599
買掛金	87	181	150
短期借入金	1,336	1,204	1,494
未払法人税等	278	399	377
未払金	917	1,162	440
賞与引当金	357	510	372
その他	481	554	764
固定負債	771	620	732
長期借入金	250	45	145
退職給付引当金	400	366	388
役員退任慰労引当金	114	194	187
その他	6	15	11
負債合計	4,229	4,634	4,332
資本の部			
資本金	1,525	1,530	1,526
資本剰余金	1,963	1,968	1,963
利益剰余金	1,870	2,049	1,989
利益準備金	190	190	190
任意積立金	1,370	1,420	1,370
中間(当期)未処分利益	309	438	428
その他有価証券評価差額金	△ 15	70	23
自己株式	△ 23	△ 54	△ 50
資本合計	5,319	5,565	5,452
負債・資本合計	9,548	10,200	9,784

中間個別損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期	当中間期	前期
	2003年 1月 1日から 2003年 6月30日まで	2004年 1月 1日から 2004年 6月30日まで	2003年 1月 1日から 2003年12月31日まで
売上高	6,848	8,285	14,429
売上原価	5,452	6,451	11,360
売上総利益	1,395	1,834	3,068
販売費及び一般管理費	1,053	1,190	2,116
営業利益	342	643	952
営業外収益	33	50	61
営業外費用	14	17	40
経常利益	362	677	974
特別利益	26	0	26
特別損失	44	131	398
税引前中間(当期)純利益	343	546	602
法人税、住民税及び事業税	275	405	565
法人税等調整額	△ 94	△ 139	△ 244
中間(当期)純利益	162	279	281
前期繰越利益	147	159	147
中間(当期)未処分利益	309	438	428

会社の概況 (2004年6月30日現在)

会社概要

商号 株式会社アルプス技研
 英訳名 Altech Corporation
 本社 神奈川県相模原市西橋本五丁目4番12号
 創業 1968年7月
 設立 1971年1月
 資本金 15億3,095万円
 拠点 国内28拠点(本社、営業拠点25、工場2)

事業内容

当社は、メカトロニクス（メカニクスとエレクトロニクスの合成語で機械、電気・電子、情報技術を融合して総合的に適用する技術や工学をいう）、コンピュータソフトウェア開発の技術ニーズに対し、最適なエンジニアを選考後、「労働者派遣法」に基づき契約先へ技術者を出張させる「派遣」の形態の技術提供と、契約先の仕様に基づき、プロジェクトチームによる設計・試作・開発・製造の一端を担当する「請負」の形態の技術提供を行っております。

株式の状況 (2004年6月30日現在)

会社が発行する株式の総数 12,000,000株
 発行済株式総数 6,600,280株
 株主数 2,755名
 大株主 (前期末比305名増)

氏名または名称	所有株式数(株)	所有比率(%)
松井利夫	1,326,342	20.10
有限会社松井経営研究所	725,681	10.99
アルプス技研従業員持株会	193,819	2.94
株式会社横浜銀行	119,972	1.82
日本証券金融株式会社	113,900	1.73
日本トラスティサービス信託銀行株式会社信託口	109,200	1.65
岡田孝男	101,022	1.53
株式会社東邦銀行	97,979	1.48
松井アイ子	96,087	1.46
株式会社八十二銀行	95,882	1.45

役員

取締役会長	松井利夫
代表取締役社長	池松邦彦
代表取締役副社長	原修次
専務取締役	岡部博
常務取締役	山崎國秀
取締役	江川孝志
取締役	須貝昌清
取締役	羽田一郎
取締役	中川一忠
常勤監査役	大石忠男
監査役	小林孝雄
監査役	松田壯吾
監査役	舟生俊博

事業所・グループ会社のご案内 (2004年6月30日現在)

本社

神奈川県相模原市西橋本5-4-12 TEL 042-774-3333 (代)

事業本部

東北・北海道事業本部

宮城県仙台市太白区長町3-7-13 TEL 022-304-3450

首都圏北事業本部

東京都港区西新橋3-8-3 TEL 03-5777-6788

首都圏西事業本部

神奈川県相模原市西橋本5-4-12 TEL 042-773-3121

西日本事業本部

大阪府大阪市中央区安土町2-3-13 TEL 06-6125-1150

工場 (モノづくり部門)

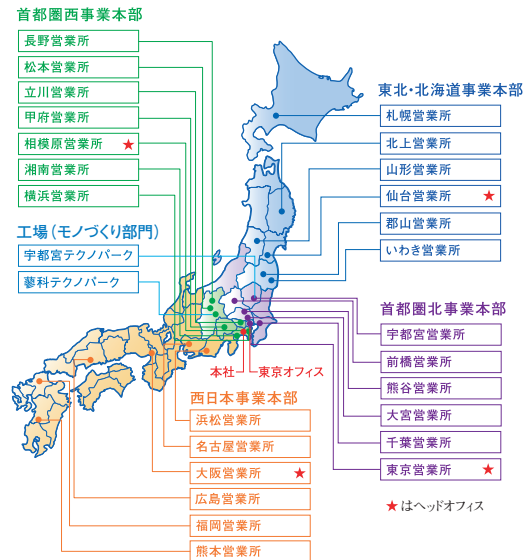
宇都宮テクノパーク

栃木県矢板市乙畑字三角山1926 TEL 0287-48-2415

蓼科テクノパーク

長野県茅野市大字玉川字原山11400-1076 TEL 0266-79-2222

営業所一覧



グループ会社

国内

(株) アルプスビジネスサービス

神奈川県相模原市西橋本5-4-12 TEL 042-774-3339

(株) アルネス情報システムズ

東京都千代田区三崎町2-9-2 TEL 03-5275-9511

(株) サイエンスシステム

栃木県矢板市乙畑字三角山1926 TEL 0287-41-7222

(株) エムテーシー

埼玉県さいたま市南区別所7-14-37 TEL 048-862-8651

ディスクウェア(株)

東京都江東区木場1-4-12 TEL 03-3646-8633

(株) ホットスプリング

神奈川県相模原市西橋本5-4-21 TEL 042-770-9427

(注) 2004年10月1日より神奈川県相模原市西橋本1-16-18 TEL 042-700-2622に移転の予定です。

海外

愛達翔研(股)有限公司(台湾)

(英文名: ALTECH SHINE CO.,LTD.)

台北市松江路146-5 TEL 886-2-2531-9933

ALTECH LANKA(PRIVATE) LIMITED(スリランカ)

5A, AUSTIN PLACE, COLOMBO8

TEL 94-11-2689854

阿爾卑斯科技(北京)有限公司(中国)

(英文名: ALTECH BEIJING CO.,LTD.)

北京市朝陽区勁松三区302号華騰大厦2016室

TEL 86-10-8773-0112

株主メモ

決 算 期 毎年12月31日
定 時 株 主 総 会 毎年3月
基 準 日 毎年12月31日
必要がある場合にはあらかじめ公告
して基準日を定めます。

名義書換代理人 三菱信託銀行株式会社
連 絡 先 〒171-8508
東京都豊島区西池袋1丁目7番7号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部
Tel. 0120-707-696(フリーダイヤル)

同 取 次 所 三菱信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞
1単元の株式数 100株

お知らせ

1. 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求および買増請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-707-696で24時間承っておりますのでご利用ください。
2. 配当金を郵便貯金口座へお振り込みすることができるようになりました。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので、名義書換代理人に指定書用紙をご請求ください。
3. 日本経済新聞に掲載する決算公告に代えて貸借対照表および損益計算書の開示は当社ホームページ(<http://www.alpsgiken.co.jp/ir/koukoku.html>)によることとさせていただきます。

表紙写真は当社が支援しているフィンスイミングの坂本弥生選手
100mイメージ日本記録保持者(2004年6月30日現在)

株式会社 アルプス技研

〒229-1131 神奈川県相模原市西橋本五丁目4番12号

Tel.042(774)3333 (代表)

<http://www.alpsgiken.co.jp/>

E-mail:somu.tw@alpsgiken.co.jp